10月教育委員会定例会議事録

1　日　時　　令和8年10月28日（水）　　午後2時00分～午後2時30分

2　場　所　　湖西市役所　市長公室

3　出席者

	教育長	松山　　淳			
	委員	西川　倫予	山下　恵子	穴水　正哲	杉山　　健
	事務局	教育次長	(藤井公和)	教育総務課長	(石田千博)
		学校教育課長	(石田　隆)	スポーツ・生涯学習課長	(佐原　敬)
		図書館長	(山中裕美)	保育幼稚園課長	(水野友香)
		教育総務課長代理(外山典靖)			

4　報　告　　第26号　　令和7年度決算報告について

午後2時00分開会

（松山教育長） 出席は5名、定足数に達しているので、令和8年10月湖西市教育委員会定例会を開会する。

（松山教育長） 本日の案件は、報告1件です。それでは審議に入る。

（松山教育長） 報告第26号「令和7年度決算報告について」、事務局の説明を求める。
（教育次長） 報告第26号「令和7年度決算報告について」令和7年度決算について、別紙決算額のとおり報告する。令和8年10月28日提出　　湖西市教育委員会　教育長　松山　淳

令和７年度において教育委員会の教育総務課、学校教育課、スポーツ・生涯学習課、図書館の４課、および、湖西市教育委員会事務局組織規則第18条第２項の規定により、文化並びに幼稚園に関する事務を補助執行している産業部文化観光課、こども未来部保育幼稚園課は、湖西市教育振興基本計画の基本理念である「未来の湖西を創る“ひと”づくり」を具現化するために各種事業を展開してきた。続いて、お手元の主要施策成果の説明書を見ながら、主要なものについて説明をさせていただく。なお、文化観光課、保育幼稚園課を除き、教育委員会事務局として予算を執行した部分のみ説明させていただく。

各款における事業について説明させていただく。

3款　民生費、2項 児童福祉費、1目 児童福祉総務費について説明する。

放課後児童クラブ運営事業は、放課後児童クラブへの委託費である。物価高騰等に伴い、国が定める補助基準額が増額されたことから、これに合わせて委託料も前年度に比べ増額となっている。

続いて10款　教育費、1項教育総務費、について説明する。

1目　教育委員会費について、教育委員会関係経費は、教育委員会の組織運営に要した経費で、教育委員4名分の報酬が主なものである。

2目　事務局費について、豊田佐吉翁記念奨学金事業費は、奨学金の給付に要した経費である。令和7年度は、大学生6名、高校生1名の奨学生に対して給付を行った。

育英奨学資金貸付事業費は、奨学資金の貸付事業に要した経費であり、令和7年度は、大学生2名、高校生1名に貸付けを行い、新規貸付者は2名であった。また、令和7年度中の返済において未納となるような状況はない。

3目　教育指導関係経費について、令和7年度から市内3中学校に校内教育支援センターを設置し、指導員4名を配置したことに伴い、指導員の報酬等が新たに発生したため、前年度に比べ増額となっている。また、校内教育支援センターの設置にあたっては、県から支出金を受けている。

特別支援教育推進事業は、市で配置する特別支援教育支援員に係る経費が主なものである。令和7年度は、勤務日数を増加したことにより、前年度に比べ増額となっている。

学校給食推進事業費は、小学校5校、中学校4校の給食調理業務に係る経費である。また、地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策として、小学校は学校給食費の一部を補助し、中学校は物価高騰対策を含めて令和6年10月から給食費を無償化し、令

和7年度は年間を通して実施したことから、補助金が増額となっている。
4目　教育施設整備費について、教育施設整備費は、給食センターの供用開始に向けた整備工事及び北部地区の学校再編に係る経費である。給食センターの供用開始に向け、各学校の受入室整備に係る設計及び工事、上下水道整備工事を実施するとともに、岡崎中学校の増築設計を行ったことから、前年度に比べ増額となっている。
5目　教育施設管理費について、教育施設管理費は、小学校及び中学校の施設の維持管理に要した経費であり、修繕料が主なものである。
2項　小学校費、2目　教育振興費について、鷲津小学校教育振興費から新居小学校教育振興費までは、小学校教育の充実を図るため、教材、図書等の整備に要した経費である。
教育扶助費は、就学が経済的な理由で困難な児童の保護者への援助に要した経費で、主なものは就学援助費41名分及び特別支援教育就学奨励費142名分の助成に要した経費である。
3目　学校整備費について、小学校施設整備費は、教育環境の向上を図るため、白須賀小学校のトイレ改修工事及び鷲津小学校のトイレ改修工事に係る実施設計を行った。
3項　中学校費1目、学校管理費について、鷲津中学校管理運営費から新居中学校管理運営費までは、各中学校の管理運営に要した経費である。中学校管理運営費は各中学校の維持管理に要した経費である。
2目 教育振興費について、鷲津中学校教育振興費から新居中学校教育振興費までは、中学校教育の充実を図るため、教材、図書等の整備に要した経費である。
教育扶助費は、就学が経済的理由で困難な生徒の保護者への援助に要した経費となっており、就学援助費22名分及び特別支援教育就学奨励費67名分の助成に要した経費である。
一般諸経費は、学校教育の充実を図るため、部活動の支援に要した経費である。要綱に規定する大会への出場に係る経費及び部活動振興に対する交付金が主なものである。
3目　学校整備費について、中学校施設整備費は、教育環境の向上及び充実を図るため、新居中学校の校内教育支援センター開設に向けた空調設備整備及び鷲津中学校長寿命化改修事業を実施した。
6項 社会教育費 1目 社会教育総務費について、社会教育総務関係経費は、社会教育の推進に要した経費である。
2目 生涯学習費について、生涯学習推進費は、市民の各年齢層に応じた生涯学習の機会を提供するために要した経費である。令和7年度は、第3次湖西市生涯学習推進計画を策定したことから、市民アンケートを実施し、アンケート調査に係る通信運搬費296千円を支出した。
4目 青少年育成費について、青少年健全育成費は、青少年育成団体への支援、はたちの集いの開催、青少年補導活動及び電話相談など、青少年の健全育成に要した経費である。青少年ものづくり体験事業については、企業からの寄附を受けたことにより、令和7年度は前年度に比べ増額となっている。
8目 社会教育施設費について、西部地域センター管理運営費は、施設の維持管理及び運営に要した経費である。令和6年度に大規模改修工事を実施したことから、令和7年度は前年度に比べ減額となっている。
北部地区多目的研修施設管理運営費及び南部地区構造改善センター管理運営費は、それぞれ施設の維持管理及び運営に要した経費である。北部地区多目的研修施設管理

運営費が前年度に比べ増額となった主な要因は、浄化槽の修繕を実施したことによるものである。
9目 図書館費について、中央図書館運営事業は、図書館資料の購入費、窓口業務及び学校司書業務を担当する会計年度任用職員の報酬、図書館システム及び電子図書館の維持管理に要した経費が主なものである。
図書館施設維持管理事業は、建物及び設備の保守、修繕等、施設の維持管理に要した経費である。
図書館活動推進事業は、図書館ボランティアによるお話し会をはじめとした利用促進イベントの実施や、ブックスタート事業に要した経費である。
新居図書館管理運営費は、新居図書館の運営及び施設管理に要した経費である。
7項 保健体育費 1目 保健体育総務費について、社会体育施設維持管理費は、湖西運動公園外4施設及び複合運動施設の指定管理業務委託料並びに施設の修繕等に要した経費である。
湖西運動公園外4施設については、梶田多目的運動広場が令和7年度から給食センター建設に伴い管理移管となり、運動施設として廃止となったことから、前年度の湖西運動公園外5施設から4施設へ変更となっている。また、前年度に比べ執行額が大幅に減少した主な要因は、令和6年度に新居温水プールの解体工事を実施したことによるものである。
2目 スポーツ推進費についてで、スポーツ活動推進及び大会運営費は、市民のスポーツ活動の推進及び各種大会の運営に要した経費である。主なものは、スポーツ教室の講師謝礼、スポーツ大会の開催委託、ジュニアスポーツクラブ育成業務委託、市町対抗駅伝大会及びリレーマラソンの運営に係る経費である。令和7年度は、第3次湖西
以上が10款 教育費の令和7年度決算概要である。なお、この後の質疑に対しては、担当課長が詳細説明するので、よろしくお願いする。
（松山教育長） 質疑のある方は発言をするように。
（西川委員） 民間保育所等助成事業費のところで、私立幼稚園等施設型給付費にヒーローズこさいこども園が入っているが、令和7年度から、こども園になったということであるか。
（保育幼稚園課長） そのとおりで1号認定の幼稚園部ができた。
（西川委員） 令和6年度までは、こども園ではなかったということか。
（保育幼稚園課長） そのとおりである。
（山下委員） 白須賀小学校管理運営費が令和6年度と比べて67.56％の伸び率になっており、借上料が大幅にアップしているが、何か原因はあるか。
（教育総務課長） 小学生のパソコンのリース料で、5年間リースでリース期間中は借上料が高くなるが、その後に市が譲渡により保守を行うことから委託料が高くなる。そのようなことで年度によって借上料と委託料が増減し、リースと保守の入れ替わりが要因ということで理解いただきたい。
（西川委員） 教育施設整備費について、令和7年度決算と予算を比較すると1億円くらい差があるが、この理由は何か。
（教育総務課長） 工事の入札差金である。
（西川委員） 予算時に予定していた事業が実際にはそこまで経費がかからなかったとうことか。
（教育総務課長） そのとおりである。
（西川委員） 小学校施設整備費時について、白須賀小学校校舎トイレ改修工事と、令和6年度は新居小学校南校舎トイレ改修工事を行っていて、改修面積があまりかわら

ないが、金額に大きな差がでている。また、令和6年度は白須賀小学校トイレ改修工事の設計と鷲津小学校トイレ改修工事の設計についても金額に大きな差が出ている。この理由は何か。

（教育総務課長）　新居小学校については、南校舎のトイレが縦に3階あり、各階ごとにトイレがある。各学校によって造りが違うこともあり、面積だけで工事が同じになるということではなく、トイレの下の配管を全部やり直す場合など条件が変わってくることもある。設計についても工事の内容によって工事規模が大きくなったり、面積は同じでも施工部分が多くなれば設計も大きくなるため、一概に面積だけの比較というわけにはいかない場合があるため、ご理解をいただきたい。

（松山教育長）　本日の案件については、これをもって全て終了した。

これにて、令和8年10月湖西市教育委員会定例会を閉会する。

閉　会　　午後2時30分終了